

山スポ：横浜市山岳協会クライミングコンペ

◆日程 2023年10月1日(日)

◆メンバー L：TY、SD、OY、IZ

毎年恒例の横山協主催のコンペが丹沢大倉・山岳スポーツセンターで行われた。予選はフラッシュ、決勝はオンサイト方式。各山岳会の上位4名分の予選(A・Bルート)高度点合計が団体戦の得点となる。出場者は常連の横浜・神奈川・ベルニナ・蝸牛・MSCの各山岳会、そして市民グループの「ビスケット」。おおむね4人(1人~6人)揃えてきている。



今年のグレードはA5.10b~c、B5.11a~b、決勝5.11dと、昨年(A5.10a~b、B5.10c~d)完登者が多く出たことを受け、少し難しく設定されていた。円陣を組み「横浜山のか〜い!ファイッ」に、みんな「目立っちゃうだろ…」と周囲を気にしながらも「オー」と声を出してくれた。山の会のメンズは万事控えめだ。それぞれの目標を胸に挑む。

結果はなんと、まさかの団体優勝となった。うまい強い人は他の山岳会に大勢いるのになぜ? 実は4人全員Aルート完登は当会だけであった。OY・IZが決勝進出したものの個人入賞はならずと突出したスター選手はいない反面、平均して力をつけ難しいBルートも力の続く限り登った。2位との差は6点(6手)、それぞれ1手半×4人の頑張りの成果である。

随一の登攀力で山の会のクライミングを牽引し続けてくれているOYさん。CLとしての山行に加えジムトレも精力的に行い、JWALLの月パスを買って通い詰めていたTYさん。思わず「コソ練してました?」と聞いてしまった安定のSDさん。クライミング大好きなIZ。横浜山の会のチーム力が存分に発揮された一日となった。アルパインへのトレーニングや縦走時の岩稜帯歩行の基礎としてある程度の登攀力は全登山者に必要だが、クライミングそのものがとても楽しい競技であり、そして頑張っただけ練習した成果が出るのはうれしい、と改めて実感された。残念ながら直前に不参加となってしまったNOさん、来年はご一緒しましょう。副協会長として携わってくださったSMさん、ありがとうございました。(記:IZ)

【TY】横浜山の会団体優勝。結果を聞いた時には俄かに信じられなかった。去年初めて参加して一本も完登出来なかった。この一年ジムトレと岩トレを並行して行った、今年はAルートを完登出来て嬉しかった。日々のトレーニングに付き合ってくれた仲間のお陰だ。今後も仲間と共に山のトレーニングを続けていきたい。

【SD】クライミングコンペの団体優勝はまさに青天の霹靂でした。優勝した我々が一番ビックリしていたと思います。私は他の3人と比べると明らかに練習不足だったので足を引っ張らないか心配でしたが、最低限のノルマは果たせたかなあとホッとしています。来年度はもっとトレーニングして団体連覇を目指したいですね。

【OY】2018年の第24回から参加していますが、団体での入賞こそあれ、正直、上位参加者とは技量の差を感じていました。今年のメンバ表を見た時には、コロナも落ち着いてきたためか、各会ともにメンバを揃えて来たと感じました。このような中で団体優勝を勝ち取れたのは、日ごろの練習成果の表れであり、メンバ全体の技量が上がったことの証だと思います。大変うれしい結果ではありますが、個人的には予選二完登の目標が果たせなかったのが、来年に向け練習を続けたいと思います。

【IZ】直前に、JWALLの一番傾斜のきつい壁で粘ったのが良い練習になりました。わたしは5年前の入会初年度は「下手すぎて危ない」という判断で、出場を見合わせました。でもみんなと一緒にここまで来て、本当にうれしいです。ご興味ある方ぜひ一緒にやりましょう!

